

(7) 令和4年度 指定管理者モニタリングレポート

施設名	四日市市障害者自立支援施設 共栄作業所			
所在地	四日市市西日野町4070番地1		設置年月：昭和52年5月	
指定管理者	名称	社会福祉法人 四日市市社会福祉協議会		
	代表者	会長 伊藤 八峯		
	住所	四日市市諏訪町2番2号		
担当部課 (問合せ先)	健康福祉部 障害福祉課	TEL：059-354-8171	E-mail： syougai Fukushi @city.yokkaichi.mie.jp	
設置目的	障害者自立支援施設として、通所する障害者に対し自活に必要な訓練及び職業の提供を行うことにより、自立と社会参加を促進する。			
設置の根拠 (法令、条例等)	障害者総合支援法、四日市市障害者自立支援施設条例			
施設の概要	敷地面積(m ²)	1,200.00	延床面積(m ²)	666.73
	設備の概要	作業室、事務室、相談室、医務室、食堂、調理室等		
	事業概要	就労継続支援に関する事業（定員37名） (1) 授産活動(受注作業, 自主製品作業) (2) 生活経験、自立促進活動 (3) 保健衛生・健康管理 (4) 保護者・地域との連携		

■ モニタリングの総合コメント

共栄作業所は平成23年4月に知的障害者授産施設から障害者自立支援施設へ移行し、通所する障害者（以下「利用者」という。）に自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう、就労継続支援B型事業所としての就労の機会を提供するとともに、生産活動その他の活動の機会の提供を通じて、その知識及び能力の向上のために必要な訓練を行ってきました。保護者の要望を受け入れる形で就労継続支援B型事業を選択し、保護者と施設側が協議を重ね、より良い個別支援を実施してきたことから、利用者等の社会福祉協議会に対する信頼は厚く、これまでの利用者アンケートでも高い評価を得ています。

管理運営については、おおむね計画通り運営されました。業務内容については、条例・規則を遵守し、募集要項、仕様書等に定める業務を適正に実施していました。

また、地域に開かれた施設を目指すため、これまで関わりの少なかった分野の人々にも、障害特性を理解し、地域の支援者になってもらうことを目的に、施設の持つノウハウを活かして、福祉教育、ボランティア育成、学生実習の場の提供など時間と手間のかかる地道な活動を続けています。年々地域社会との接点を増やすことで、環境変化に適応しにくい利用者が、周囲の学校や地域に受け入れられるようになっていきます。施設運営についても、社会福祉協議会が地域で培った信頼と人材を活かし、様々な視点から話し合いを重ねていくことが重要です。

事業収支については、昨年度と同様に新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、一部受注作業の減少やイベントの中止や簡略化、開催規模の縮小があったものの、展示会の実施などにより自主製品収入が増加するなど、収入が支出を上回っており、事業は安定していると判断しました。

■ 今後の業務改善に向けた考え方

今後の業務改善については、よりよい管理運営を目指して、下記の運営方針を指導していきます。

- ・利用者が次なるステップを見出せるよう、保護者とも十分協議しながら、自立と社会参加を促進するために必要な生活訓練や職業訓練等を提供するなど、充実した施設運営がなされること。
- ・利用者の高齢化や地域社会の状況なども踏まえ、今後の施設運営等について様々な角度から検討していくこと。
- ・利用者の意思を尊重し、利用者個々の能力に合わせて、個人にあった目標を立てて支援するように努め、就労支援活動に支障の出ることのないようにすること。
- ・事業の安定した継続と信頼の維持のため、職員の専門性をさらに高め、技術の向上を一層考慮すること。また、職員間の情報共有を図り、危機管理意識を持つこと。
- ・ハード面では、利用者が安全・安心に利用できるよう、引き続き、施設の維持管理に努めること。
- ・個人情報の取扱については、資料及びデータ管理の徹底、パソコン及び周辺機器のセキュリティ対策を引き続き行うこと。

基本的な考え方（施設の性格・目的等との合致、市民の平等な利用の確保、施設の効用発揮）

合目的性・公平性・効果性

就労支援活動を通して集団の中で働くことの意義を見出すとともに社会との繋がりを肌で感じ、併せて工賃を得ることで働く喜びを知り、適切な支援のもと豊かな生活経験の場を広め自立の道を図るという、施設の目的に沿った支援方針に基づき実施されていました。

施設運営や利用者への対応については、利用者やその保護者から高い信頼を得た中で、公正に運用されていました。

また、指定管理者としての特性を生かし、法人が実施している相談事業やボランティアセンターなど各種サービスや、民生委員・地区社協・学校等の関係団体と有機的な連携を図り、福祉体験等の機会を提供するなど、障害者自立支援施設として一定の成果がありました。

業務内容

機能性・独創性（事業への具体的な取組み方）

利用者は保護者等の支援を受けてそれぞれが通所し、利用者一人ひとりに合わせた支援を受けながら、一緒に働く喜びを感じており、適正かつ柔軟な管理運営が実施されていました。

令和4年度も、新型コロナウイルス感染症拡大の影響でイベントの中止や簡略化、開催規模の縮小があったものの、個人や団体・ボランティアと連携を図り、ばんこの里会館での展示会、夜景ランでの展示会や、地域等との交流会を通して、利用者との交流できる場を設けていました。

また、共栄の織り製品のインターネット販売サイト「織りの郷」を用いて、協力企業の他、様々な社会資源と協働し、事業の拡大に努めていました。

就労支援活動では、全国社会就労センター協議会の承認を受け、企業との連携で実現した「幻のなたね油」の受託作業、封筒への点字刻印、リサイクル解体作業にも、引き続き努力し工賃向上につなげていました。

業務内容については、法令・条例・規則を遵守し、募集要項、仕様書等に定める業務を適正に実施していました。

責任性・実行性（施設の運営体制や組織）

施設の維持管理については、社会福祉協議会の法人管理部門でも確認しながら、担当課と連絡調整会議を密にし、課題を共有しました。

また、定期的で開催している施設サービス運営委員会については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、第1回は書面会議となりましたが、第2回は対面での会議開催となり、意見交換を行うなどサービスの質の向上に努める姿勢が見られました。階層別及び経験年数に見合った外部研修会や、職員の意識向上を図るため、施設内研修を行ない、復命報告により職員間での共有を図りより質の高いサービス提供に努めていました。

明瞭性・規律性（適正な事務や経理）

受託金収入や、事業費や人件費など、施設管理費等の支出について適正に処理し、領収書や計算書類及び諸帳簿も整理されていました。また、毎日の利用者の日課や年間行事、施設の保守点検等に関する書類もよく整理されていました。

安全性（安全管理、緊急時等の対応）

情報管理については、通常使用するパソコンにはBIOSパスワードを設置し、データのバックアップはパスワード管理を施した外付けハードディスクで管理し、支援計画などの個人情報には鍵付キャビネットに保管するなどの対策が徹底されていました。日常から施設内を点検し、修繕箇所を早期発見と対応が適切に行われていました。また防災に関しては、西日野福祉ゾーン合同防災会議、合同防災訓練に参加し、緊急時の協力体制の構築につとめ、施設内では防災マニュアルを作成し、毎月1回、緊急地震速報端末を利用し、火災・地震それぞれの避難訓練が行われました。自主防災設備点検も定期的実施されていました。各作業室には、利用者の数だけ防災頭巾が備えられ、災害時の非常食用食料・防災用品も備蓄され、常に使用できるよう整備されていました。

防犯対策として、玄関には赤外線来客報知センサーを設置して不審者侵入の防止に努め、事務机及び全書庫の施錠を徹底すると共に、夜間・休日の警備は警備会社に管理を業務委託していました。

感染症対策については、来所者用手指消毒用アルコールの設置・検温、調理員の細菌検査の実施など、適切な対策が講じられていました。

社会性（環境等への配慮）

リサイクル解体作業を作業に取り入れ、日常的に環境問題が意識されていました。

また、廃棄物の処分などについては、処分してもらう業者に manifests を提出させるなど法令遵守の徹底がなされており、汚水処理についても適切に整備点検が行われていました。

事業収支

経済性

施設の経費削減や業務改善により支出額を抑える一方で、利用者へのサービス向上・安全配慮・危機管理に関する経費は優先的に支出していました。

団体の経営状態

経営の健全性

令和4年度の財務諸表（貸借対照表、資金収支計算書、事業活動収支計算書）などを分析した結果、法人全体としての資産・負債の健全性は維持されていて、特段の問題は生じておらず、今後も継続的・安定的にサービスを提供することが可能であるものと判断しました。

その他

障害者雇用に対する取組み

障害者雇用率については3.13%と、令和3年度の2.42%や法定基準である2.3%を上回っており、取り組みは良好です。

令和4年度 四日市市障害者自立支援施設 共栄作業所 運営状況 チェックシート

1. 運営企画

項目	実施計画	実施内容	計画対比	検証・分析等	適否
開館日数	243日	243日	0日	計画通り実施された。	適
開館時間	8:30~17:00	8:30~17:00	計画通り		
委託・提案事業開催数	243日	243日	0日		
自主事業開催数	-	-	-		

2. 利用実績

項目	実施計画	実施内容	計画対比	検証・分析等	適否	
延べ利用者数	利用者数 個人	6,318人	5,671人	△ 647人	年度当初の登録者数は26名であったが、年度内に1名が退所し25名となった。	適
	委託・提案事業参加者数	6,318人	5,671人	△ 647人		
	自主事業参加者数	-	-	-		
	合計	6,318人	5,671人	△ 647人		
延べ利用件数	-	-	-			
平均利用人数 (人/日)	26人	23人	△ 3人			
平均稼働率 (%)	-	63.0%	-			

3. 事業収支

項目	実施計画	実施内容	計画対比	検証・分析等	適否	
収入	利用料金	-	-	-	利用者給食代は、計画を多めに置いていたため、実績では下回った。 委託・提案事業収入については、自主製品の「共栄の織り」の売り上げが増加したため、計画を上回った。	適
	指定管理料	62,920,000	62,920,000	0		
	利用者給食代	2,310,000	1,647,000	△ 663,000		
	職員等給食代	730,000	706,950	△ 23,050		
	委託・提案事業 就労支援事業	5,450,000	5,858,705	408,705		
	雑収入	0	11	11		
	自主事業からの繰入金	-	-	-		
	計	71,410,000	71,132,666	△ 277,334		
支出	人件費	53,119,000	47,874,134	△ 5,244,866	〔勤務体制：正職2人、嘱託7人、臨時3人、非常勤嘱託1人〕 人件費の減については、人事異動により給料支給額の差異が出たことが主要要因である。計画では正職の1名について主任クラスを予定していたが、実際には若手の職員であった。 その他については、主に給食材料費において、計画の際に人数を過大に見込んでいたことから、残額が生じた。 委託・提案事業の事業費については、コロナ禍のため各種行事・レクリエーションの規模を縮小して実施したことなどにより、計画を下回った。 一方、就労支援事業は、自主製品の売り上げが増加したため、利用者に支払う工賃が増加した。	適
	管理費	9,992,000	9,338,069	△ 653,931		
	消耗品費	700,000	758,453	58,453		
	燃料費	54,000	21,275	△ 32,725		
	印刷製本費	80,000	45,100	△ 34,900		
	光熱水費	2,335,000	2,645,776	310,776		
	修繕料	1,000,000	1,019,493	19,493		
	通信運搬費	302,000	299,286	△ 2,714		
	手数料	93,000	83,934	△ 9,066		
	保険料	324,000	406,040	82,040		
	委託料	918,000	763,383	△ 154,617		
	賃借料	611,000	606,696	△ 4,304		
	その他	3,575,000	2,688,633	△ 886,367		
	委託・提案事業 就労支援事業 事業費	5,451,000	5,788,799	337,799		
一般管理費	1,635,000	1,335,626	△ 299,374			
計	71,410,000	65,549,440	△ 5,860,560			
収 支	0	5,583,226	5,583,226			
自主事業	収入	-	-	-	自主事業なし	-
	支出	-	-	-		
	収 支	-	-	-		

総合コメント

新型コロナウイルス感染症の感染対策に万全の注意を払いながら、利用者各々に適した生産活動を提供し、各種行事やレクリエーションも開催するなど、障害者の地域生活を支援するという施設の設置目的に沿った運営が行われていた。計画に対する増減はあるものの、指定管理事業の決算は概ね良好であると判断する。

令和4年度 四日市市障害者自立支援施設 共栄作業所 運営状況 チェックシート①-2

項目		事業分析	適否判断
利用実績		<p>開館日数：243日 延べ利用者数：5,671人 令和5年3月31日現在利用者25人（定員37人） ※公の施設として、民間施設での支援が困難な重度障害者を受け入れるセーフティネットの役割を果たすため、利用者の新規入所については慎重に判断している。</p>	適
事業収支	収入	<p>委託・提案事業収入については、外壁改修工事に伴い、段ボールの運搬作業が難しく受注を止めたため、一部受注作業が減少した。一方で、展示会の実施やECサイトでの販売などにより自主製品の「共栄の織り」の売り上げが増加したため、就労支援事業収入全体としては、計画を上回った。また、売り上げの増加により、利用者の工賃向上につながっていた。 利用者給食代は、計画を多めに置いていたため、実績では下回った。</p>	適
	支出	<p>支出実績は計画を下回っており、その差の大きなものは、人件費、管理費のその他、委託・提案事業費の事業費であった。 計画に対する増減はあるものの、指定管理事業の支出は概ね良好であると判断する。</p>	適

令和4年度 四日市市障害者自立支援施設 共栄作業所 業務の履行状況 チェックシート

分類	対象	項目	確認方法	検証・分析等	適否
総則	業務従業者の要件等	業務執行体制（各業務・作業責任者等）が明確になっているか、また、変更した場合連絡先を市に届出されているか	書面確認	適切に報告等されている	適
	法令等の遵守	法令等で定められた書類を提出したか	書面確認	地方自治法など各種法令・規程に関する書類は提出されていた	適
	報告書等の提出	各業務計画書・報告書は提出されたか	4/1計画、5/10報告、月次報告確認	仕様書通り行われている	適
		自主事業の計画書・報告書は提出されたか	-	-	-
		収支予算書・決算書は提出されたか	4/1予算、5/10決算、毎月書面確認	仕様書通り行われている	適
	意思疎通	市と指定管理者の責任者との間で十分に連絡がなされているか	月1回会議・書類管理、指定管理者面接	十分に情報共有が行われている	適
	各種管理記録等の整備保管	各種業務計画書が整備、保管されているか	毎月書面 実地確認	仕様書通り行われている	適
		業務日誌等の報告書、点検記録は整備、保管されているか	毎月書面 実地確認	仕様書通り行われている	適
		整備・修繕・事故・故障の履歴は整備、保管されているか（事業期間終了時まで）	毎月書面 実地確認	仕様書通り行われている	適
		付保している保険を市に通知しているか（更新を含む）	書面・ 随時実地確認	仕様書通り行われている	適
	非常時・緊急時の対応	緊急事態発生時の対処マニュアル（緊急連絡網の掲示を含む）が整備、保管されているか	書面 実地確認	仕様書通り行われている	適
		緊急発生時、ないし危険が予測される場合に直ちに措置を講じたか	報告・書面・ 月次報告 随時報告 書面確認	仕様書通り行われている	適
事故等の報告書が提出されたか		随時報告 書面確認	仕様書通り行われている	適	
建築物保守管理	点検・保守	点検・保守は確実に行われているか	随時報告 書面確認	建築基準法・消防法等に定められた点検がなされている	適
		法定点検、検査は選任資格者の責任によって計画・実施されているか	随時報告 書面確認	建築基準法・消防法等に定められた点検がなされている	適
設備保守管理	取扱説明書	機器等の取扱説明書が整備・保管されているか	現地 書面確認	仕様書通り行われている	適
	点検・保守	点検・保守は確実に行われているか	随時報告 書面確認	建築基準法・消防法等に定められた点検がなされている	適
		法定点検、検査は選任資格者の責任によって計画・実施されているか	随時報告 書面確認	建築基準法・消防法等に定められた点検がなされている	適
備品・什器等保守管理	取扱説明書	機器等の取扱説明書が整備・保管されているか	現地 書面確認	仕様書通り行われている	適
	点検・保守	点検・保守は確実に行われているか	随時報告 書面確認	点検・保守は行なわれている	適
外構施設保守管理	点検・保守	点検・保守は確実に行われているか	随時報告 書面確認	点検・保守は行なわれている	適
清掃業務	清掃	清掃は確実に行われているか	現地 書面確認	清潔に清掃されていた	適
警備業務	業務等	業務が計画書に基づいて実施されているか	随時報告 書面確認	仕様書通り行われている	適
		不審者に対し適宜質問をしたり、警察へ通報する等のマニュアルを作成しているか	随時報告 書面確認	仕様書通り行われている	適
	鍵管理	マスターキー等の管理は適切か	実地確認	適切に管理されている	適
	防災	マニュアルは作成されているか	実地確認	作成されている	適
植物育成管理業務	樹木管理	剪定時期等は適切か	随時・実地確認	適切に管理されている	適
	花壇管理	四季の植栽は適切か	随時・実地確認	適切に管理されている	適
施設利用案内	行事開催案内	パンフレット類は整備されているか	実地確認	パンフレット類は整備されている	適
	ホームページ作成	ホームページは更新されているか	随時画面確認	ホームページの更新はされている	適
管理システム受付業務	機器管理	研修を実施しているか	-	-	-
	システム管理	更新・変更は常になされているか	-	-	-
		トラブルに対応したか	-	-	-

総合コメント

法令等の遵守及び募集要項等に基づく業務計画等の実施について誠実に履行されていた。各種計画書、報告書等も期限までに提出されており、職員の配置、各種マニュアルの作成、施設修繕、設備機器等の保守・管理、保険の加入等についても適正に履行されていた。

令和4年度 四日市市障害者自立支援施設 共栄作業所 事業の実施状況 チェックシート

事業区分	通し番号	項目	実施計画	実施内容	検証・分析等	適否
委託・提案事業	1	生産活動全般	毎日の作業日課	受注作業(点字刻印、農耕作業、リサイクル解体作業等)のほか、自主製品(共栄の織り)の生産活動を行う。	利用者の障害程度や適性に応じた様々な作業を行うことにより、利用者の就労意欲や社会参加が促進された。また、生産品を通じた地域交流も行われた。	適
	1-1	(共栄の織り作業)	毎日の作業日課	利用者が縦糸と横糸を使い一枚の布を織り、ボランティアや職員が名刺入れやバッグ、マフラー等に仕立てる作業。展示会で実演や即売会、インターネットでの販売も行う。	新型コロナウイルス感染症の影響により即売会は引き続き中止したが、ばんこの里会館や夜景ラン会場での展示会を開催した。製品作成及び販売を行うことで、利用者の就労意欲や社会参加が促進された。	適
	1-2	(点字刻印作業)	毎日の作業日課	市の封筒に「ヨッカイチシヤクショ」と点字を刻印する作業	市の封筒に点字を刻印することで利用者の就労意欲や社会参加が促進され、自主製品のPRが社会啓発にもつながった。	適
	1-3	(農耕作業)	毎日の作業日課	収穫作業と幻のなたね油のラベル貼り作業	農作業や完成品のラベル貼りにより、利用者の就労意欲や社会参加が促進され、自主製品のPRが社会啓発にもつながった。	適
	1-4	(段ボール組み立て作業・リサイクル解体作業(廃電線含む)・割り箸の袋入れ作業)	毎日の作業日課	自動車部品を梱包するための段ボールの組み立て作業、導線を銅と紙に分別する作業や専用の機械で加工して電線のビニール皮膜を剥がす作業、飲食店で使用する割り箸の袋詰め作業	利用者の障害程度や適性に応じた様々な作業を行うことにより、利用者の就労意欲や社会参加が促進された。	適
	2	目的別社会実習(社会見学)	年1回社会見学を行う(貸し切りバス、日帰り)	2月14日に「ばんこの里会館」にて社会見学を実施	コロナ禍のため半日に縮小しての実施となったが、集団で社会見学を行うことで、日常の社会訓練とは違うルールを学ぶことができた。	適

総合コメント

新型コロナウイルス感染症の影響により、一部受注作業が減少したほか、自主製品の即売会については引き続き中止となったものの、ばんこの里会館や夜景ラン会場での展示会においては交流も図られ、インターネット販売サイトでの販売も順調で、収入が増加した。この結果、利用者の工賃向上、利用者の就労意欲や社会参加の促進、障害者の自立支援、社会参加に関する社会啓発にもつながった。今後も利用者等のニーズを取り入れ、積極的に取り組んでいくことを求めている。

令和4年度 四日市市障害者自立支援施設 共栄作業所 事業の実施状況 チェックシート③-1

事業区分	通し番号	項目	参加者数			収入		
			計画	実績	計画対比	計画	実績	計画対比
委託・提案事業	1	生産活動全般	6,318人	5,671人	△ 647人	5,450,000	5,858,705	408,705
	1-1	(共栄の織り作業)	(2,651人)	(2,537人)	(△ 114人)	(4,150,000)	(4,587,499)	(437,499)
	1-2	(点字刻印作業)	(743人)	(492人)	(△ 251人)	(550,000)	(538,750)	(△ 11,250)
	1-3	(農耕作業)	(20人)	(4人)	(△ 16人)	(40,000)	(40,000)	(0)
	1-4	(段ボール組み立て作業・リサイクル解体作業(廃電線含む)・割り箸の袋入れ作業)	(4,075人)	(3,546人)	(△ 529人)	(710,000)	(692,456)	(△ 17,544)
	2	目的別社会実習(社会見学) ※帰所後生産活動を行ったため、参加者数は生産活動全般の内数	(26人)	(22人)	(△ 4人)	—	—	—

令和4年度 四日市市障害者自立支援施設 共栄作業所 設備・備品の維持管理状況 チェックシート

分類	対象	項目	確認方法	検証・分析等	適否
総則	意思疎通	市と指定管理者の責任者との間で十分に連絡がなされているか	随時指定管理者と面接	十分に情報共有が行われている	適
	記録	整備・修繕・事故・故障の履歴は整備、保管されているか	月次報告 実地確認	仕様書通り行われている	適
建築物保守管理	点検保守	点検によって異常が認められる場合は、速やかに修繕、交換、分解整備、調整等を行っているか	随時電話確認 実地確認	建築基準法・消防法等に定められた点検がなされ、修繕等が行なわれた	適
		不具合が生じた場合の報告を適切に行っているか	随時電話確認 実地確認	不具合が生じた際に、適切に報告がなされている	適
		修理、更新が必要な場合は原因等を含めて速やかに報告しているか	随時実地確認	報告されている	適
	修理	修繕工事は適切であったか	実地確認	適切であった	適
設備保守管理	点検保守	点検によって異常が認められる場合は、速やかに修繕、交換、分解整備、調整等を行っているか	月次報告 実地確認	建築基準法・消防法等に定められた点検がなされ、修繕等が行なわれた	適
		不具合が生じた場合の報告を適切に行っているか	月次報告 実地確認	不具合が生じた際に、適切に報告がなされている	適
		修理、更新が必要な場合は原因等を含めて速やかに報告しているか	月次報告 実地確認	報告されている	適
	修理	修繕工事は適切であったか	月次報告 実地確認	適切であった	適
備品・什器等保守管理	点検保守	点検によって異常が認められる場合は、速やかに修繕、交換、分解整備、調整等を行っているか	月次報告 実地確認	仕様書通り行われている	適
		不具合が生じた場合の報告を適切に行っているか	月次報告 実地確認	不具合が生じた際に、適切に報告がなされている	適
		修理、更新が必要な場合は原因等を含めて速やかに報告しているか	月次報告 実地確認	報告されている	適
	修理	修繕工事は適切であったか	月次報告 実地確認	適切であった	適
外構施設保守管理	点検保守	点検によって異常が認められる場合は、速やかに修繕、交換、分解整備、調整等を行っているか	月次報告 実地確認	仕様書通り行われている	適
		不具合が生じた場合の報告を適切に行っているか	月次報告 実地確認	不具合が生じた際に、適切に報告がなされている	適
		修理、更新が必要な場合は原因等を含めて速やかに報告しているか	月次報告 実地確認	報告されている	適
	修理	修繕工事は適切であったか	月次報告 実地確認	適切であった	適

総合コメント

施設・設備等の点検・保守は定期的実施されていた。軽易な修繕については市と事前協議を行ったうえで実施し、修繕結果は毎月の業務報告及び連絡調整会議等で報告を受けた。

令和4年度 四日市市障害者自立支援施設 共栄作業所 サービスの質 チェックシート

分類	対象	項目	確認方法	検証・分析等	適否
運営業務	入所許可・使用料金の徴収	入所許可等の手続きは適切であったか	連絡調整会議	仕様書通り行われている	適
		使用料の徴収は適切に行っていたか	実地確認 報告書確認	仕様書通り行われている	適
	施設利用案内	行事開催案内の時期は適切か	月例会議 実地確認	適切に行われている	適
		ホームページは見易いか	毎月 HP 確認	見易いものであった	適
	受付・対応業務	担当者の接客態度は良かったか	随時実地確認	良好であると判断する	適
		利用者に対する指導は適切であったか	随時実地確認	適切に対応されていた	適
		業務従業者は名札を着用しているか	随時実地確認	着用していた	適
運営業務	講座やイベントは満足できる内容であったか	アンケート	良好である	適	
維持管理業務	施設・設備の保守管理業務	施設が利用に支障をきたすような状況のまま放置されていないか	随時実地確認	適切に管理されていた	適
		設備が利用に支障をきたすような状況のまま放置されていないか	随時実地確認	適切に管理されていた	適
	清掃業務	トイレトペーパー、消毒用品、手洗い用石鹸は常に補給されているか	随時実地確認	適切に管理されていた	適
		全体的（駐車場を含）に、見た目清潔に保たれているか	随時実地確認	清潔に清掃されていた	適
	安全管理業務	避難経路には障害物がないか	随時実地確認	障害物は見られなかった	適
	外構・植栽管理業務	機能・美観が良好な状態に保たれ、利用者が安全に利用することができるか	随時実地確認	良好に管理されていた	適
		利用に支障をきたすような状況のまま放置されていないか	随時実地確認	適切に管理されていた	適
		樹木・花壇は見栄え良く管理されているか	随時実地確認	良好に管理されていた	適
		草刈りや除草はされているか	随時実地確認	良好に管理されていた	適
	環境衛生管理業務	快適に利用できる環境となっていたか	随時実地確認	快適に利用できる環境となっていた	適
廃棄物処理業務	廃棄物は適切に分別が行われていたか	随時実地確認	適切に分別が行われていた	適	
備品管理業務	利用に支障をきたすような状況のまま放置されていないか	随時実地確認	適切に管理されていた	適	

総合コメント

各々の個別支援計画や、障害者の特性に応じた日中活動が選択できるよう、幅広い内容の就労支援活動を取り入れており、その支援と評価について保護者の方々ときめ細かな連携を取っている。その結果を、日中活動の内容にフィードバックさせ、利用者一人ひとりの支援がより良いものになるよう努力されている。この積み重ねにより、利用者の健康や家庭の問題を相談できる信頼関係が築かれており、共に問題解決に向けて取り組む姿勢が見られた。

また、施設サービスに関するアンケートを継続的に実施し、施設運営について利用者の意見を取り入れる努力がうかがえ、公平・公正に運用されていた。